

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地



令和六年三月度 入賞句一覧

投句数 千九百二十一句

特選

星野 勝 選

春風がほつぺたふわりなでてきた

大垣市

林

芽生（小二）

春の風は暖かくて、なんとなくのどかな感じがするものです。そんな春風を「ふわり」という言葉で見事に表現しています。さらに「なでてきた」という表現にも、風をまるで人のようにたとえている工夫があります。この句を作った時点では、作者は小学校二年生。感性の鋭さ、表現力の豊かさが感じられる句になりました。さらにその力を伸ばせるよう、これからも俳句づくりに挑戦してください。

桜散り池に一枚また一枚

大垣市

谷

沙雪（小六）

桜は、年に一度だけ花を咲かせますね。ただ、その華やかな時期はあつという間です。その中でも作者は、散り始めた様子を見逃さずに俳句に詠み込みました。池の周囲に、たくさんのお花が咲いていて、景が浮かびます。「池に一枚また一枚」という表現に、時間の経過が巧みに描かれています。やがて多くの花びらが、桜吹雪となつて散りゆく様子も想像させてくれる素敵な句ができましたね。

卒業式最後に校歌うたう時

加茂郡川辺町

白村

友莉（中二）

四月から作者は中学三年生です。コロナの制限が解けて、学校で歌を歌う機会も戻つていくことで、校歌は世界に一つだけ。しかも同じ時、場所を共有した人だけのものですね。何度となく歌ってきた校歌も、卒業式が最後。その時その場所にいた人たちは、どんな思いで校歌を歌ったのか、そして聞いたのか。下五「歌う時」から、そんなことに思いを巡らす、余韻を残す句になりました。

秀逸

梅の花君の笑顔と同じ色

加茂郡川辺町

日下部

巧実（中二）

友達とけんか春の日雨模様

加茂郡川辺町

古川

帆稀（中三）

じよやのかねねがいをこめてゴーンとね

大垣市

さわ田

花な（小三）

はながして黒くそまつた春の空

大垣市

小坂

ちさ（小四）

さくらさきこの町ぱつとピンク色

大垣市

小坂

南帆（小五）

春を待つ気温のジェットコースター

大垣市

渡部

美響（小五）

ブランコで大空を見て雲一つ

大垣市

石川

圭悟（小五）

なんでだろかなしいような春の雪

大垣市

栗本

結菜（小五）

友達と最後に過ごす春の朝

大垣市

栗田

こはる（小六）

春キヤベツシヤキシヤキおとがきこえるよ

大垣市

竹口

あいね（小三）

入選

小中学生の部

ひなまつりパーツなくして母怒る	加茂郡川辺町	松原 萌夏(中二)
春が来たスイーツいっぱい新メニュー	加茂郡川辺町	森 優唯菜(中二)
春の風運ばないでねアレルゲン	加茂郡川辺町	有本 樹奈(中二)
入学式あらたな出会い笑顔咲く	加茂郡川辺町	東 ハナベル(中二)
新学期景色が変わる通学路	加茂郡川辺町	馬場 翔(中三)
惜春や友とまた会う約束を	加茂郡川辺町	堀井 咲来(中三)
はつ日の出きれいなあさをむかえたよ	大垣市	前川 はるき(小三)
雪つもるはじめの一步だれがふむ	大垣市	福井 咲歩(小三)
つるしびな赤白青のお星さま	大垣市	加代 杏奈(小四)
春一番やつと命が目をさます	大垣市	廣畑 晴喜(小四)
おもちゃくこげたにおいでおおあわて	大垣市	大野 愛斗(小五)
ひなまつり今だけなりたい女の子	大垣市	荒谷 桃我(小二)
さくらたちヒラヒラ落ちるパラシユート	大垣市	岩田 悠聖(小三)
寒いけど心は燃える鬼ごっこ	大垣市	林 稜響(小五)
桜の木ぼくらといっしょに咲きほこれ	大垣市	松岡 咲斗(小五)
せつぶんでぼくがおにだよまめいたい	大垣市	大谷 たくと(小二)
春の朝目薬指していつてきます	大垣市	棚橋 遥香(小五)
きらきらと光をちらす春の雨	川辺中学校三年	三品 明日香(中三)
桜咲く新たな人と巡り会う	大垣市	近藤 ゆめ(小六)
蒲公英やいつもの道が華やいで	大垣市	佐野 水紀(小六)

選者吟

立ち漕ぎの風独り占め春の朝

まさる

